外国人求人サイト開設

地銀13行と連携強化

ゴーウェル

ゴーウェルは2月15日、地方求人に特化した外国人向け求人サイト「地方WORKS」を始めた。国内初のサービスとして、13の地方銀行とも連携を深めながら外国人と地方企業をつなぐ施策を強化する。

同社は、東南アジア語翻訳通訳事業で7千社の海外進出を手掛ける。「34万人を超えるアジアからの留学生の就職率は35％で優秀な人材が帰国している」（松田秀和社長）とし、地方企業の人材不足と国内外国人材の就職難を打開する。

地方WORKSは、全国求人内容をエリア別、職種別にわかりやすく掲載し、就職希望の外国人に「地方で働く魅力」を視覚的に発信する。就職カフェ「ゴーウェルタウン銀座」や専門スタッフの面談対応も可能。求人掲載は無料で採用時に同社に課金を支払う。

2月1日に北国銀行と業務提携。同15日は鹿児島銀行が主催した「外国人材活用セミナー」で松田社長が講師で登壇し、外国人採用の留意点、実際に販路拡大につながった企業事例などを解説した。

住宅ローン比

MF

地域銀へ

住宅ローンの借り入れ可能な金融機関を比較・検索するサービス「モゲチェック」を提供するMFSは、地域金融機関に同サービスの利用を推進していく。

1月25日から審査に通る確率を瞬時に判定する新機能を追加した。

新機能は、年収や職業など12項目の個人情報を入力すると、モゲチェックが過去に取り扱った4千件以上の審査結果を基に融資承認確率（20～80％）を表示する。ユーザーの居住地によって利用できる金融機関が異なるため、地域別の金融機関ランキングも示す。

千里眼

【309】

グーグルが認めたMDM

アイキューブドシステムズ

取締役営業本部長CSO　林　正寿氏

【福岡】アイキューブドシステムズは福岡市が本社で、業務用モバイル端末を管理するMDMサービスを開発している。マルチOS対応の「CLOMO MDM」は、Androidではグーグルの製品基準を満たす世界11社のうちの1社。2020年7月に東証マザーズに上場した。林正寿取締役営業本部長CSO（48）に話を聞いた。

――MDMとは。

「利用状況の確認、機能制限、紛失時のロックなど遠隔地から端末を管理できるクラウドサービス。コロナ禍で急速にデジタル化が進み、問い合わせが倍増している。金融界では、テレワークで社内環境への接続や、ネットで情報を探す安全性を確保する必要がある。働き方改革で是正が急がれる〝隠れ残業対策〟で利用時間を制限する機能のニーズも高い」

――商品の特徴は。

「管理区分を選び、端末を決めて操作するという3ステップが1画面で完結する。異なるOS（iOS、Android、Windowsに対応）の端末も統合管理できる。また、サポートも充実している。導入前の環境設定を支援する体制は、他社にはない。導入後の問い合わせはメールと電話で日本語対応し、当日中に1次回答する」

――金融事例は。

「ふくおかフィナンシャルグループなど200社以上が利用している。明治安田生命保険は、大手生保で初の試みとして外交員約3万2千人に配布したスマートフォンに導入。別の大手生保は当社のアプリ群『SECURED APPs』を個人端末に入れ、業務では一元管理できるアプリを使い、個人領域と分けて安全にBYOD（個人端末の業務利用）できる」

――展望は。

「モバイル端末は効率化と顧客満足の向上に活用する業務改革に不可欠なツールだ。MDM専業で10年以上蓄積した知見を生かしニーズに合った管理体制を提供する」

（聞き手＝橋本　拓巳）

はやし・まさかず　大阪府出身、48歳。1996年大阪外大（現阪大）卒、ハマダ印刷機械、サイボウズを経て、14年入社、営業本部副本部長、15年1月執行役員営業本部長、18年9月現職。